



防災チェックシート（企業版）

山形県

激甚化・頻発化する自然災害や地震等の大規模災害に備えて、企業においても**防災の取組（事前の備え）**を行いましょう。

企業の社員や顧客、施設・設備等の経営資源を守るとともに、**事業活動を継続**させるための**対策を事前に立てておく**ことが大切です！

このチェックシートで災害への備えを点検してみてください。

～ 3月11日は『**県民防災デー（防災点検の日）**』です！！～
(令和6年1月31日制定)

1. 災害リスクの把握

市町村等の**ハザードマップ**から、社屋や自社倉庫、主要な取引先、社員宅等の**所在地の災害リスクを把握**しましょう。

□ ハザードマップ等による社屋や主要取引先等の災害リスクの把握（市町村ハザードマップ、国土地理院が提供する「重ねるハザードマップ」等による確認）

□ 耐震診断等による社屋等建物の耐震性の確認



2. 平常時の備え

「人命」「施設」「財産」「情報」を守るため、必要な対策を講じ、災害に備えましょう。

- 社内のガラス、壁、看板、塀などの安全性の確認
- 出口や階段などに障害物を置かない等、消火装置や避難経路等の点検
- 書類棚やOA機器などのオフィス機器等の転倒防止対策
- データのバックアップや適切な保管、非常電源の確保など、情報資産の安全対策
- 企業及び社員それぞれで、非常用物品（備蓄品）・防災資機材等の準備

※企業で確保する備蓄（食料・飲料水）は、

3日分程度を目安に（できれば1週間）



3. 緊急時対応の事前準備

災害発生時には迅速な対応が必要になります。

従業員等の初動対応の内容とタイミング、手順などを事前に確認しておきましょう。

- 発災時間帯別（①出勤時間、②就業時間、③帰宅時間等）の出退勤ルールの設定・共有
- 発災時に職場にいない従業員等の安否確認体制の構築
- 発災時、従業員等を社内待機させ、むやみに移動させないことの徹底（社内待機による一斉帰宅抑制）
- 社内待機できない場合に備え、避難場所・避難経路の確認
- 従業員等への防災研修・各種訓練の実施

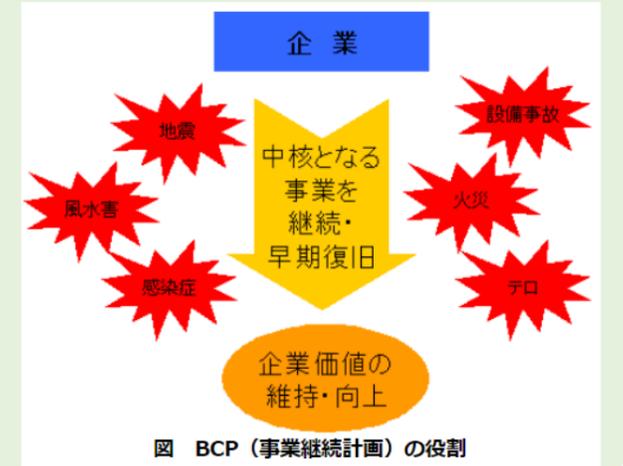


4. 事業継続計画（BCP）の策定

事業継続計画（Business Continuity Plan、BCP）は、大地震等の自然災害など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画です。

災害等の緊急事態でも事業の継続と早期復旧ができるようBCPを策定しましょう。

- BCPの策定



5. 地域貢献・地域との共生

大規模災害の被害を最小限にとどめるためには、社会全体で防災に取り組むことが大切です。

事業所（企業）は、地域の強力な構成員です。

災害が発生した際に助け合うことができるよう、日ごろから、地域住民や他企業と連携し関係を構築しておきましょう。

- 日頃から地域の行事や防災訓練へ参加
- 大規模災害を想定した地域住民や他企業との連携体制の構築



〒990-8570 山形市松波2丁目8番1号
山形県防災くらし安心部防災危機管理課
TEL：023-630-2230 FAX：023-633-4711

